

全日本民医連認知症懇話会ニュース

第1号 2014.6.10 山形県実行委員会

全国の皆さま

全日本民医連 第6回認知症懇話会を、山形県・庄内の地で開催することになりましたので、お知らせいたします。

山形県・庄内では、東京・大阪など大都市・首都圏に比して少子高齢化が10~20年の先取りで進行しており、さらに豪雪地帯であることから、山村部の集落が限界集落となる危険性が大きな問題となっています。三世代同居率が日本一高いと云われた山形でも、近年、老・老世帯や高齢者独居世帯が急速に増加してきました。こんな状況の中で、認知症を持った高齢者をどう地域で見守り、支えていけばよいのか、大変大きな課題です。

しかし、こんな時こそ全国の民医連の出番だと考えております。皆さんの知恵を結集して、高齢者に優しい地域包括ケアを作り上げていく契機にしたいと考えています。

山形県・庄内はアクセスに多少のご不便かと存じますが、その不便こそ皆様にとって貴重な体験になることと思います。

現地では、実行委員会を立ち上げ、皆さんをお迎えして満足して頂けるよう、特別講演の演者の選定やプログラムの工夫に着手しております。

皆様、こぞってご参加ください。

珠玉の地・庄内でお待ちしております。

実行委員長：鶴岡協立病院 堀内隆三

テーマ：「地域で支える」

開催日時：2014年**12**月**5**日（金）13：00～

6日（土）～12：00

会場：山形県鶴岡市「東京第一ホテル鶴岡」